

慈雲

第 68 号

2023/8

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町3 7 5 番地

TEL (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

<http://www.zuirenji.net/>

Shinshū Ōtani-ha

Jiunzan Zuirenji

Jiunkai



如来いま、韋提希（いだいけ）および未来世の一切衆生（しゅじょう）をして西方極樂世界を觀ぜしめんことを教えん。

如来今者
教韋提希
及未来世
一切衆生
觀於西方
極樂世界

【『觀經』の言葉】

救いということとはただ闇雲ではない。お釈迦さまは韋提希夫人と未来の一切の人々に向かつて西方極樂世界を觀（み）よと教えられるのである。これがお釈迦さまの救いの手立て、方法である。私たちが今生きているこの世界を仏教では娑婆という。それに対して阿弥陀さまは極樂世界という国を建てられてそこに私たちを往生させるという方法で救おうとされるのである。娑婆と極樂は經典には十万億土離れたところにあると書かれていますが、実は竹の内側にある薄い膜一枚隔てたところにあるのです。しかし私たちの煩惱の眼で見ると千里を超えるほどと考えてしまいます。それを今、お釈迦さまの教導きによって遠いところにあるのではない事を知らされるのです。

秋の彼岸会法要

秋の彼岸会法要を左記の通り勤めまします。法要に先立って納骨堂を開放いたします。ご家族おそろいでどうぞお参りください。

日時 九月二十三日(祝) 午後二時

法要並び法話

講師 住職

講題 「すなはち我(わ)がよき親友

(しんぬ)なり」

お斎(とき)

YouTubeライブ配信は左のQRコードを読み取ってください。



「おみがき」のご案内

今年度後半のお磨きは左記の日程で仏具のおみがきをいたします。

九月十九日(火) 午前九時より

十一月九日(木) 午前九時より

十二月十七日(日) 午前九時より

おみがきは約一時間半で終わります。きれいに磨かれたお仏具の前でお勤めをし、お茶を飲んで解散します。皆さまのご協力をお願いいたします。

静坐(せいざ)会のご案内

今年五月から瑞蓮寺が管理している歓喜教会という寺院にて、月一回静坐会を実施しています。静坐とは岡田虎二郎先生が考案された呼吸法のことです。姿勢と呼吸を正しくして丹田を中心にした生活を心がけます。起床後と就寝前に行うことで身体をしつかり起こして一日を始め、一日の終わりに身体を休めしつかり熟睡できます。私自身毎日行うことは現状できていませんが、静坐会の時に講師の方に姿勢を正してもらい呼吸をすることで、会が終わるころには頭がすっきりした状態になります。また、意識して正しい姿勢と呼吸を維持する難しさに驚くと同時に、普段どれだけ乱れた姿勢と呼吸で生活しているか思い知ります。畳に座れない方は椅子でも出来ますので、ご興味持たれた方はぜひ一度ご参加ください。 若住職記す

場所…京都市下京区仏具屋町162

(南隣に郵便局があります)

日時…毎月第二木曜日十八時〜十九時

次回は九月十四日

参加費…五百円

編集後記

○前回三月に発行して以来の新聞となりました。間が空いてしまい申し訳ありません。この五ヶ月の間にあったことをいくつかが報告いたします。四月に次男が就職の為東京へ行きました。家族ではじめての東京在住の人間となりました。五月に二人目の孫が生まれました。上の子に続いて女の子です。上の子は妹が可愛いのですが、お母さんを取られたようで少し複雑な心境のようです。言うまでもなく孫はどちらも可愛く、私の携帯電話の待ち受けも二人の写真にしております。七月は祇園祭があり、お寺の町内は南観音山が出ます。今年も曜日も良く人手が多かったです。八月はお盆参りで皆様のお宅へお参りさせて頂きました。そうこうしているうちに九月が目の前に迫っております。新聞が皆様のお手元に届くころにはもう月が替わっていることでしょうか。そのころには少しは暑さも和らぎ涼しくなっていることを期待します。今年の夏の暑さは異常でした。体調を崩されたご門徒さまも多かったです。もうしばらく皆様お大事になさってください。住職記す。